

【第1部】(Q1～Q25)

用法 Q1. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

王之臣

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 代名詞「これ」(之を…)

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q2. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

学問之道

ア 主語・述語の間(訳さない・「が」)

イ 代名詞「これ」(之を…)

ウ 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q3. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

君子之徳

ア 代名詞「これ」(之を…)

イ 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q4. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

父母之恩

ア 動詞「ゆく(行く)」

イ 代名詞「これ」(之を…)

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

用法 Q5. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

天下之宝

ア 代名詞「これ」(之を…)

イ 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q6. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

知
之

ア 代名詞「これ」(之を…)

イ 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q7. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

取
之

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

ウ 代名詞「これ」(之を…)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q8. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

愛
之

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

ウ 代名詞「これ」(之を…)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q9. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

求
之

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 動詞「ゆく(行く)」

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 代名詞「これ」(之を…)

用法 Q10. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

養
之

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 動詞「ゆく(行く)」

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 代名詞「これ」(之を…)

用法 Q11. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

鳥
之
飛

ア 主語・述語の間(訳さない・「が」)

イ 代名詞「これ」(之を…)

ウ 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q12. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

民之帰
スル

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 代名詞「これ」(之を…)

ウ 動詞「ゆく(行く)」

エ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

用法 Q13. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

水之流
ル

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

ウ 代名詞「これ」(之を…)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q14. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

天之高
キ

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

ウ 代名詞「これ」(之を…)

エ 動詞「ゆく(行く)」

用法 Q15. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

レ 之 ク
ニ 齊

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 代名詞「これ」(之を…)

ウ 動詞「ゆく(行く)」

エ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

用法 Q16. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

レ 之 ク
ニ 楚

ア 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

イ 動詞「ゆく(行く)」

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 代名詞「これ」(之を…)

用法 Q17. 傍線部「之」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

牛 ク
何 ニ
之 ク

ア 動詞「ゆく(行く)」

イ 代名詞「これ」(之を…)

ウ 主語・述語の間(訳さない・「が」)

エ 連体修飾の「の」(A之B=AのB)

用法 Q18. 傍線部「也」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

是^レ
君子也

ア 句中の語調を整える「や」

イ 疑問・反語の「や・か」

ウ 断定の「なり」

用法 Q19. 傍線部「也」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

仁^ハ
人心也

ア 断定の「なり」

イ 疑問・反語の「や・か」

ウ 句中の語調を整える「や」

用法 Q20. 傍線部「也」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

是^レ
吾罪也

ア 断定の「なり」

イ 疑問・反語の「や・か」

ウ 句中の語調を整える「や」

用法 Q21. 傍線部「也」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

兵
凶
器
也

ア 疑問・反語の「や・か」

イ 断定の「なり」

ウ 句中の語調を整える「や」

用法 Q22. 傍線部「也」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

子
何
為
也

ア 断定の「なり」

イ 疑問・反語の「や・か」

ウ 句中の語調を整える「や」

用法 Q23. 傍線部「也」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

是
誰
過
也

ア 断定の「なり」

イ 句中の語調を整える「や」

ウ 疑問・反語の「や・か」

用法 Q24. 傍線部「也」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

何^ソ遅^キ也

ア 断定の「なり」

イ 句中の語調を整える「や」

ウ 疑問・反語の「や・か」

用法 Q25. 傍線部「与」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

我^レ与^ト汝

ア 動詞「与ふ（あたえる）」

イ 並列の「と」（AとB）

ウ 比較・選択（A与B…いずれか）

用法 Q26. 傍線部「与」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

父^レ与^ト子

ア 比較・選択（A与B…いずれか）

イ 動詞「与ふ（あたえる）」

ウ 並列の「と」（AとB）

用法 Q27. 傍線部「与」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

礼^ト
与^レ
楽

ア 並列の「と」(AとB)

イ 動詞「与ふ(あたえる)」

ウ 比較・選択(A与B…いずれか)

用法 Q28. 傍線部「与」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ニ^フ
与^ニ
之^ヲ
金

ア 動詞「与ふ(あたえる)」

イ 並列の「と」(AとB)

ウ 比較・選択(A与B…いずれか)

用法 Q29. 傍線部「与」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ^フ
与^ニ
民

ア 並列の「と」(AとB)

イ 動詞「与ふ(あたえる)」

ウ 比較・選択(A与B…いずれか)

用法 Q30. 傍線部「与」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

天
レ 与 フ
之 ヲ

ア 並列の「と」(AとB)

イ 比較・選択 (A与B…いずれか)

ウ 動詞「与ふ(あたえる)」

用法 Q31. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

レ 為 ス
学 ヲ

ア 受身「る・らる」(為～所)

イ 断定の「たり」

ウ 「ために」(目的・利益)

エ 動詞「なす・つくる・治む」

用法 Q32. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

ニ 為 ル
一 之 ガ
名 ヲ

ア 動詞「なす・つくる・治む」

イ 断定の「たり」

ウ 「ために」(目的・利益)

エ 受身「る・らる」(為～所)

用法 Q33. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

善^ク
為^ム
レ^ヲ国

ア 動詞「なす・つくる・治む」

イ 断定の「たり」

ウ 「ために」(目的・利益)

エ 受身「る・らる」(為～所)

用法 Q34. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

ニ^{タリ}
為^ノ
人
一^臣

ア 動詞「なす・つくる・治む」

イ 「ために」(目的・利益)

ウ 断定の「たり」

エ 受身「る・らる」(為～所)

用法 Q35. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

復^タ
為^{タリ}
レ^師

ア 動詞「なす・つくる・治む」

イ 「ために」(目的・利益)

ウ 断定の「たり」

エ 受身「る・らる」(為～所)

用法 Q36. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

レ 為^ニ
君^ノ

ア 動詞「なす・つくる・治む」

イ 断定の「たり」

ウ 受身「る・らる」(為～所)

エ 「ために」(目的・利益)

用法 Q37. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

レ 為^ニ
民^ノ

ア 動詞「なす・つくる・治む」

イ 断定の「たり」

ウ 受身「る・らる」(為～所)

エ 「ために」(目的・利益)

用法 Q38. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

ニ 為^ル
人^ノ
所^ト
笑^フ

ア 動詞「なす・つくる・治む」

イ 受身「る・らる」(為～所)

ウ 「ために」(目的・利益)

エ 断定の「たり」

用法 Q39. 傍線部「為」の用法として正しいものを、後のア～エから選べ。

二
一
レ
為敵所破
ル
ノ
ト
ル

ア 受身「る・らる」（為～所）

イ 断定の「たり」

ウ 「ために」（目的・利益）

エ 動詞「なす・つくる・治む」

用法 Q40. 傍線部「以」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ
以刀断
テ
ヲ
ツ

ア 「以為（おもへらく）」＝思うことには

イ 原因・理由の「～によって」

ウ 手段・方法の「もって」

用法 Q41. 傍線部「以」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ
以德治
テ
ヲ
ム

ア 原因・理由の「～によって」

イ 手段・方法の「もって」

ウ 「以為（おもへらく）」＝思うことには

用法 Q42. 傍線部「以」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 以
礼 事
テ
ヲ
フ

ア 「以為（おもへらく）」＝思うことには

イ 原因・理由の「～によって」

ウ 手段・方法の「もって」

用法 Q43. 傍線部「以」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ニ 以
一 其
智 解
テ
ノ
ヲ
ク

ア 手段・方法の「もって」

イ 原因・理由の「～によって」

ウ 「以為（おもへらく）」＝思うことには

用法 Q44. 傍線部「以」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 以
病 辞
テ
ヲ
ス

ア 手段・方法の「もって」

イ 原因・理由の「～によって」

ウ 「以為（おもへらく）」＝思うことには

用法 Q45. 傍線部「以」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 以^テ
力^ヲ
争^フ

ア 原因・理由の「～によって」

イ 手段・方法の「もって」

ウ 「以為（おもへらく）」＝思うことには

用法 Q46. 傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 所^ロ
見^ル

ア 「～するところ（もの・こと）」

イ 受身「～される」（為～所）

ウ 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

用法 Q47. 傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 所^ロ
聞^ク

ア 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

イ 受身「～される」（為～所）

ウ 「～するところ（もの・こと）」

用法 Q48. 傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 所 欲
ロ
ス
ル

ア 「～するところ（もの・こと）」

イ 受身「～される」（為～所）

ウ 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

用法 Q49. 傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 所 学
ロ
ア

ア 受身「～される」（為～所）

イ 「～するところ（もの・こと）」

ウ 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

用法 Q50. 傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ニ 為 人 所 殺
ル
ノ
ト
ス
レ

ア 「～するところ（もの・こと）」

イ 受身「～される」（為～所）

ウ 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

用法 Q51. 傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ニ
一レ
為
世
所
用
ル
ノ
ト
キ
ル

ア 「～するところ（もの・こと）」

イ 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

ウ 受身「～される」（為～所）

用法 Q52. 傍線部「所」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ
所
思
ロ
フ

ア 「～するところ（もの・こと）」

イ 受身「～される」（為～所）

ウ 理由・わけ「ゆゑん」（所以）

用法 Q53. 傍線部「者」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

仁
者

ア 仮定の「～ならば」

イ 提示の「～は」（主題を示す）

ウ 「～する者・もの」

用法 Q54. 傍線部「者」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

学
者^ア

ア 提示の「～は」(主題を示す)

イ 「～する者・もの」

ウ 仮定の「～ならば」

用法 Q55. 傍線部「者」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

勇
者

ア 「～する者・もの」

イ 提示の「～は」(主題を示す)

ウ 仮定の「～ならば」

用法 Q56. 傍線部「者」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

兵
者^ハ
凶
器

ア 「～する者・もの」

イ 仮定の「～ならば」

ウ 提示の「～は」(主題を示す)

用法 Q57. 傍線部「者」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

良薬者^ハ苦口^レ

ア 提示の「～は」(主題を示す)

イ 「～する者・もの」

ウ 仮定の「～ならば」

用法 Q58. 傍線部「者」の用法として正しいものを、後のア～ウから選べ。

項籍者^ハ、
下相人^ノ也。

ア 「～する者・もの」

イ 提示の「～は」(主題を示す)

ウ 仮定の「～ならば」

現代語訳 Q59. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

井底之蛙

ア 井戸の底にいる蛙

イ 蛙のすむ井戸の底

ウ 井戸の底へ行く蛙

書き下し Q60. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

漁父之利

ア 漁父之を利す

イ 漁父利に之く

ウ 漁父の利

現代語訳 Q61. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

民之父母

ア 人民がその父母のもとへ行く

イ 人民の父母（のような存在）

ウ 父母が治める人民

書き下し Q62. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

九牛之一毛

ア 九牛一毛に之く

イ 九牛之を一毛とす

ウ 九牛の一毛

現代語訳

Q63. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

孔子之弟子

ア 弟子である孔子

イ 孔子の弟子

ウ 孔子が弟子のもとへ行く

書き下し

Q64. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

学^{ビテ}而^ニ時^フ習^ヲ之^レ。

ア 学びて時に之を習ふ

イ 之を学びて時に習ふ

ウ 学びて時に習ひて之く

現代語訳

Q65. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

レ 知^ル之^ヲ者^ハ不^レ如^ニ好^ム之^ヲ者^ニ。

ア 知りに出かける者は、好きで出かける者には及ばない

イ これを知っている者は、これを好む者には及ばない

ウ これを知っている者は、これを好む者よりもすぐれている

書き下し

Q66. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 王^ル見^ヲ之^ヲ。

ア 王^ヲ之^ヲを見る

イ 王^ノの見る

ウ 王^ヲ見て之^ヲく

現代語訳

Q67. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

二
一
レ

虎求百獸而食之。

メ
テ
ヲ
ヲ
フ
ヲ

ア 虎はあらゆる獣を探し求めて、食べに出かけた

イ 虎はあらゆる獣の食べ物を探し求めた

ウ 虎はあらゆる獣を探し求めて、これを食べた

書き下し

Q68. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

二
一
レ

挾其善者而従之。

ビ
テ
ノ
ナル
ヲ
フ
ニ

ア 其の善なる者を挾びて之に従ふ

イ 其の善なる者を挾びて従ひて之く

ウ 其の善なる者に従ひて之を挾ぶ

現代語訳 Q69. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

水之就下
レ クキニ

ア 水が低い方へ流れていく（こと）

イ 低い所にある水

ウ 水がこれを低い所へ運んでいく（こと）

書き下し Q70. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

天之亡我
レ ボスヲ

ア 天我を亡ぼすに之く

イ 天之を亡ぼす我

ウ 天の我を亡ぼす

現代語訳 Q71. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

道之不行、
レ ルハハレ
已知之矣。
レ ニレリヲ

ア 正しい道を行かないことを、もうとっくに人に知らせた

イ 正しい道が行われないことは、もうとっくに分かっている

ウ 正しい道にこれから向かうことは、もうとっくに知っている

書き下し Q72. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

仁
之
勝
不
仁

ア 仁之を勝ちて仁ならず

イ 仁不仁に勝つに之く

ウ 仁の不仁に勝つ

現代語訳 Q73. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

孟
子
之
平
陸

ア 孟子の領地である平陸

イ 孟子が平陸からやって来る

ウ 孟子が平陸（という町）へ行く

書き下し Q74. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

吾
欲
之
南
海

ア 吾之を南海に欲す

イ 吾南海に之かんと欲す

ウ 吾が欲する南海

現代語訳

Q75. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

曾子之妻之市。
レクニ

ア 曾子の妻の市場

イ 曾子の妻が市場へ出かける

ウ 曾子の妻がこれを市場で売る

書き下し

Q76. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

是知也。
レル

ア 是れ知るなり

イ 是れ知らんや

ウ 是れ知るや

現代語訳

Q77. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

舜人也、
我亦人也。
。

ア 舜も人間であり、私もまた人間である

イ 舜は人間だろうか、私もまた人間だろうか

ウ 舜が人間であるはずがない、私こそが人間なのだ

書き下し

Q78. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

苛政猛於虎也。
。

ア 苛政は虎よりも猛なるか

イ 苛政は虎よりも猛なり

ウ 苛政は虎よりも猛ならんや

現代語訳

Q79. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

二 非 戦 之 罪 也 。
ザル ヒ ニ
一

ア 戦い方がまずかったせいではないのか

イ 戦い方がまずかったせいではないのだ

ウ どうして戦い方がまずかったせいでないことがあろうか

書き下し

Q80. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

何 為 不 去 也 。
レゾ ル ラ
レ

ア 何為れぞ去らざるや

イ 何為れぞ去らざるなり

ウ 何をか為して去らざるなり

現代語訳

Q81. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

何 謂 也 。
ノ ヒソ

ア 何も言うことはない

イ それは何かを言うことである

ウ どういう意味か

書き下し Q82. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

其故何也。
ノ
ハ
ソ

ア 其の故は何なり

イ 其の何の故なるや

ウ 其の故は何ぞや

現代語訳 Q83. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

富与貴、
レ
ト
ハ
キ
是人之所欲也。
レ
ロ
ス
ル

ア 富と高い身分とは、人が欲しがるものである

イ 富を身分の高い人に与えることは、人が望むことである

ウ 富と高い身分とでは、人はどちらを欲しがらうか

書き下し Q84. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

二
一
レ
鬻
楯
与
矛
。
グ
ト
ヲ

ア 楯を鬻ぎて矛を与ふ

イ 楯と矛とを鬻ぐ

ウ 楯の矛を鬻ぐ

現代語訳 Q85. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

レ
兄
与
弟
皆
賢
。
ト
ナリ

ア 兄は弟に賢さを分け与えた

イ 兄と弟とは、どちらも賢い

ウ 兄と弟とでは、どちらが賢いか

書き下し Q86. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

二
一
レ
則
与
斗
卮
酒
。
チ
フ
ヲ

ア 則ち斗卮酒と与にす

イ 則ち斗卮酒に与ふ

ウ 則ち斗卮酒を与ふ

現代語訳

Q87. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

堯
テ
ヲ
フ
ニ
以
レ
テ
天
下
ヲ
舜
ニ
与
フ

ア 堯は天下を舜に与えた

イ 堯は天下と舜とを手に入れた

ウ 堯は天下と舜とを比べた

書き下し

Q88. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

能
ク
フ
ニ
与
ル
人
ノ
規
矩
ヲ

ア 能く人と規矩とあり

イ 能く人に規矩を与ふ

ウ 能く人に与ふる規矩

現代語訳

Q89. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

為
ス
ニ
テ
ス
レ
政
ヲ
以
テ
徳
ヲ

ア 政治によって、徳が行われる

イ 政治のために、徳を身につける

ウ 政治を行うには、徳によって行う

書き下し Q90. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

二
一

吾能為之足。

ク
ル
ガ
ヲ

ア 吾能く之が足を為る

イ 吾能く之の為に足る

ウ 吾能く之が足と為る

現代語訳 Q91. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

レ
レ

是不為也、
非不能也。

サ
ザ
ル
ル
ニ
ハ

ア これは誰かのためにしないのであって、できないからではない

イ これは人にさせられないのであって、できないのではない

ウ これはしないのであって、できないのではない

書き下し Q92. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 為^{タルコト}君難、
レ 為^{クタルコト}臣不易^{カラ}。

ア 君たること難しく、臣たること易からず

イ 君の為に難しく、臣の為に易からず

ウ 君を為むること難しく、臣を為むること易からず

現代語訳 Q93. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

ニ 為^{タル}人子^ノ者、
一 懷^ハ仁義^{キテ}以事^ヲ其父^テ。
ニ
一

ア 人の子である者は、仁義を心にいだいて父に仕える

イ 人の子のためを思う者は、仁義を心にいだいて父に仕える

ウ 人に子として育てられた者は、仁義を心にいだいて父に仕える

書き下し Q94. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 為^ニ人謀^ノ而^{リテ}不^ル忠^{ナラ}乎。

ア 人を為めて謀りて忠ならざるか

イ 人の為に謀りて忠ならざるか

ウ 人と為りて謀りて忠ならざるか

現代語訳 Q95. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

レ 父^ハ為^ニ子^ノ隠^シ、子^ハ為^ニ父^ノ隠^ス。

ア 父は子となって身を隠し、子は父となって身を隠す

イ 父は子のために（罪を）隠し、子は父のために隠す

ウ 父は子に隠され、子は父に隠される

書き下し Q96. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

ニ
一レ
為虎所食。
ル
ノ
トラフ

ア 虎の為に食らふ所

イ 虎と為りて食らふ所

ウ 虎の食らふ所と為る

現代語訳 Q97. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

先即制人、後則為人所制。
ンズレバ
チ
シ
ヲ
ルレバ
チ
ル
ノ
トスル
レ
ニ
一レ

ア 先手をとれば人を支配し、遅れれば人のために支配する

イ 先手をとれば人を支配し、遅れれば人に支配される

ウ 先手をとれば人を支配し、遅れれば人を支配する立場になる

書き下し Q98. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 以^テ羊^ヲ易^ヘ之^ニ。
レ

ア 以て羊の之に易へよ

イ 羊を易へて之を以てせよ

ウ 羊を以て之に易へよ

現代語訳 Q99. 次の漢文の現代語訳として最も適切なものを、後のア～ウから選べ。

ニ 以^テ子^ノ之^ヲ矛^ヲ、
一 陷^サ子^バ之^ヲ楯^ヲ、
一 何^ニ如^ク。
一

ア あなたの矛で、あなたの盾を突き通したらどうなるか

イ あなたの矛のせいで、あなたの盾を突き通したらどうなるか

ウ あなたの矛だと思って、あなたの盾を突き通したらどうなるか

書き下し Q100. 次の漢文の書き下し文として正しいものを、後のア～ウから選べ。

レ 以 徳 報 怨 。

ア 徳に報いて怨みを以てす

イ 以て徳の怨みに報ゆ

ウ 徳を以て怨みに報ゆ